

いま 自衛隊と日本国憲法を問う

ゲスト対談

監督 稲塚秀孝氏

×

弁護士 内藤功氏

# 憲法を武器として

恵庭事件 知られざる50年目の真実

立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター 主催

2018 5/2 (水)

1 回目上映 14:30 ~ 16:20

ゲスト対談 16:30 ~ 17:50

2 回目上映 18:00 ~ 19:50

入場無料  
予約不要

立命館大学衣笠キャンパス  
創思館1階カンファレンスルーム

※市バスまたはJRバスにて「立命館大学前」下車  
※お車でのお来場はご遠慮ください

監督・プロデュース 稲塚秀孝

「二重被爆〜語り部・山口彌の遺言」「フクシマ2011〜被曝に晒された人々の記録」「NORIN TEN〜稲塚権次郎物語」

撮影 中堀正夫「哥」「帝都物語」

出演 松崎謙二(野崎健美) 村上新悟(野崎美晴) 無名塾 劇団男魂 C.A.W

製作・配給 タキオンジャパン HD 110分 ©TAKIONJAPAN 2017



語り 仲代達矢



# それは通信線切断からはじまった

昭和37年(1962)12月11、12日 北海道恵庭町 陸上自衛隊 島松演習場

## 〔恵庭事件〕

北海道恵庭町、自衛隊島松演習場。近くで酪農を営む野崎牧場の兄弟が通信線を切断した。長年戦闘機や大砲の騒音被害を受け、牛の乳量が落ち、家族の健康が損なわれ、約束が守られなかったことからやむにやまれぬ実行行使だった。国(検察)は自衛隊法121条「防衛の用に供する物」で起訴。自衛隊の公然化を国民に突き付けた。

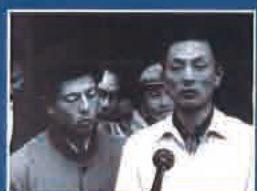


## 〔恵庭裁判〕

恵庭裁判は札幌地方裁判所で、3年半、計40回の公判が開かれた。被告と弁護団は自衛隊と自衛隊法は憲法第九条に違反すると主張。裁判所は1967年3月29日判決(辻三雄裁判長)「被告は無罪」としたが、自衛隊の憲法判断は回避、「肩すかし判決」と言われた。50年後の今、「自衛隊と日本国憲法」が問われることになった。



札幌地方裁判所



無罪判決なのに検察官は大喜びで、控訴もしない。直前における判決文の差し替えはあったのか。自衛隊に対する憲法判断を阻止しようとする「法学」のすさまじさ。牧場主兄弟のしたたかな「権利のための闘争」。そのせめぎ合いのなかで恵庭判決は出された。半世紀の時を超えて、日本国憲法の歴史的意義を問いつつ映画が生まれた。

水島朝穂(早稲田大学 教授)

## 〔キャスト・スタッフ〕

語り 仲代達矢

松崎謙二(野崎健美)

村上新悟(野崎美晴)

無名塾、劇団男魂、C.A.Wほか

公式ホームページ [www.eniwahanketu50.com](http://www.eniwahanketu50.com)

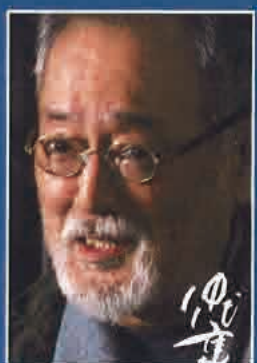
監督・プロデュース 稲塚秀孝  
撮影 中堀正夫  
編集 矢船陽介  
音楽 足立美緒  
後援 日本平和委員会  
北海道平和委員会  
協賛 学校法人 東放学園

稲塚さんの作品づくりの裏には綿密な調査や地道で果てしない取材がある。

恵庭事件を扱った今回の作品でも、ドラマ部分の台詞の為に全ての公判記録をつぶさに調べ尽くし、膨大なインタビューの末、核心に迫る重大証言を得ている。

その覚悟と努力が画面に結実し、「恵庭事件」という戦後の一場面の意味を今に問う力のある映画に仕上がっていると思う。

仲代達矢(俳優)



仲代達矢

## 憲法を武器として 恵庭事件 知られざる50年目の真実

全国で上映会を開きませんか?

「自衛隊と日本国憲法」が問われている今、上映会での希望をお持ちしています。

問い合わせは、[www.eniwahanketu50.com](http://www.eniwahanketu50.com) をご覧ください。

お申し込みは、[fnazuka@takion-japan.oniamae.jp](mailto:fnazuka@takion-japan.oniamae.jp) FAX:03-6712-6341

主催 立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター

後援 京都平和委員会

問い合わせ 立命館大学国際平和ミュージアム 075-465-8151